

平成25年度 第1回吉井地域審議会における質疑一覧

[平成25年6月6日開催]

1 吉井地域の事業推進状況に係る質疑

| 事業名                      | No. | 質疑  | 回答  |
|--------------------------|-----|---|---|
| 吉井地域総合福祉センター（仮称）建設事業について | 1   | 建設事業の共同企業体の構成事業社名、構成比率を説明いただきたい。                          | <p>建設工事は「清水・昭和工業吉井総合福祉センター（仮称）建設工事特定建設工事共同企業体」。電気設備工事は「株式会社神明電気」。機械設備工事は、「イシイ・針谷吉井総合福祉センター（仮称）建設機械設備工事特定建設工事共同企業体」が工事の施工を請け負っている。</p> <p>共同企業体の出資割合は、「高崎市建設工事に係る共同企業体取扱要領」で共同企業体の構成員の出資比率の最小限度の基準を、2社の場合には30%、3社の場合には20%と定めている。この度の一般競争入札の公告において、本要領に基づく共同事業体の結成要件として、構成員2名で自由結成としている。このことから構成員の出資比率は30%以上ということで代表者の出資比率は構成員中最大とし、清水・昭和工業及びイシイ・針谷共同企業体は、ともにこの要件を満たしている。</p> |
| 多胡碑周辺重要遺跡範囲確認調査事業について    | 1   | 今年度は道路建設のための調査ではなく、多胡郡衙跡の確認が期待される箇所が発掘調査になると思うが、どのような計画か。 | <p>多胡碑西地区の一部と、多胡碑に最も近い多胡碑隣接地区を調査する予定である。</p>  |

|                       |   |   |   |
|-----------------------|---|---|---|
| 吉井中央公園（仮称）整備事業について    | 1 | 中央公園と新町公園（仮称）に住民の要望を反映させるためのアンケート調査を実施することになっていたと思うが、どのような状況か。  | 道路用地買収、国道取付け道路計画、公園用地測量等、デリケートな時期にある。<br>地域の皆さんから意見を聞く手法としてどのようなものがあるか検討したい。  |
|                       | 2 | 防災機能を備えた総合的な公園を建設する計画の中で、公園内に建設する施設等について、法的な規制、指導などの制限はあるのか。<br>施設整備等に制限等が無い場合、職員の常勤可能な公民館（防災対応）の建設の可能性とその実現性について説明を求める。  | 現在、施設建設に伴う補助金メニューや施設規模等に関係機関と協議を重ねている段階である。ある程度確定した時点で関係法令、規制、指導について回答したい。<br>職員の常勤可能な公民館の建設は、公園の詳細な計画が決まっておらず、具体的な法的規制も決まっていないため、今後適用される関係法令を踏まえ公園施設等の設置について検討したい。 |
| 新町公園（仮称）整備構想の推進事業について | 1 | 新町公園（仮称）構想の推進についての内部組織や外部の委員会等を設置する予定はあるか。  | 道路整備計画や公共施設の再編も含めた中で、内部組織や外部委員会等において施設の必要性や事業効果などを検証する必要がある。地域審議会や地域住民の意見調整を図りながら、構想が進められるものと考えている。   |
|                       | 2 | 新聞報道で新町公園整備について、見出しに「周辺施設配置を検討」とあり「具体的には未定の状況で、これから準備をしていく」と掲載されていた。<br>周辺施設は、耐震の整備、老朽化問題、など様々な要素を含んでいるが、今後それらの要素を含めて周辺施設の再配置を考えているのか。<br>新聞の掲載内容と今後の進める事業内容が合致するのか確認したい。 | 老朽化対策に加え、駐車場不足の解消や利便性の向上など、数多くの課題が指摘されることから、施設配置などを検討する事業と考えている。今後、様々な調整や検討のなかから、区域やその整備手法の決定が進められていくものと考えている。  |

|                       |   |  |      |
|-----------------------|---|--|------|
| 新町公園（仮称）整備構想の推進事業について | 3 | 新町公園の予定地は、吉井地域の心臓部である。出来るだけ早く、しっかりとした計画・構想を固め、その一部でも構想に基づいて、早期に始められるよう要望します。 | 【要望】 |
|-----------------------|---|--|------|

## 2 その他の質疑

| 事業名                    | No. | 質疑  | 回答   |
|------------------------|-----|---|--|
| 山種記念吉井図書館について          | 1   | 山種記念吉井図書館の老朽化にともなう対策（移転または改築等）について、平成24年度に具体的な計画、方向性についての検討を行うとのことであったが、今年度はどのような状況か。                 | <p>現在は、具体的な候補施設を探り、それぞれの建物の構造や面積、現在の利用形態、駐車場確保の状況等が比較できる検討資料の作成を進めている。この検討資料をもとに関係者による検討を、早急かつ慎重に進めたい。</p> <p>候補施設が絞れた場合には、図書館としての積載荷重に対応するための、床の耐力度などを調査する委託料を平成25年度予算に措置しているため、順次進めていく予定である。</p> |
| 山種記念吉井図書館について          | 2   | 関係者と検討を進めるということだが、その中に地域の利用者は入っているのか。また、地域の利用者の意見を吸い上げるシステムは考えているのか。意見の吸い上げのために山種記念吉井図書館との連携はできているのか。 | <p>山種記念吉井図書館とは、会議や直接出向くなど常に連携をとり、地域の皆様の声が中央図書館に届くように努めている。</p> <p>検討にあたり、地元の意見をきちんと吸い上げ反映させていきたい。そのうえで中央図書館案の作成を進め、お示ししていきたい。</p>  |
| みまもり・あんしん認知症ガイドブックについて | 1   | 「みまもり・あんしん認知症ガイドブック」を発行しているが、後期～末期高齢者が増加するにともない、独居世帯や高齢者のみの世帯も増加傾向にあると思われる。                           | 今後益々増加する認知症について、正しく理解し、差別や偏見を無くし、早期発見・早期診断に繋げ、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続ける町づくりを  |

| 事業名                    | No. | 質疑   | 回答  |
|------------------------|-----|--|---|
| みまもり・あんしん認知症ガイドブックについて |     | <p>ガイドブックに掲載されている内容が、吉井地域においてどの程度機能しているのか、また十分に対応できているのか。</p>  | <p>目指すために啓発用のガイドブックを作成し、地域ごとに認知症の専門医療機関、相談機関、協力機関などを紹介している。</p> <p>吉井地域包括支援センターの、認知症に関する相談件数は、平成23年度実人員は19名、平成24年度は31名と認知症の方の人数が増加しているのと比例し、相談件数も増加している。</p> <p>平成24年度実績の31名の内14名の方が、新規に、医療機関への受診及び介護保険サービスにつながっている。</p> <p>今後も、ガイドブック等を利用し、各機関が連携し、認知症の方やご家族が気軽に相談できる体制作りに取り組んでいきたい。</p> |
| 吉井地域の高齢者等の人数」について      | 1   | <p>参考資料「吉井地域の高齢者等の人数」について、この資料の作成意図は何か。</p> <p>また、このデータは新町・箕郷・群馬地域などと比較して、比率的にはどのような状況なのか。</p> <p>それらの地域と比較して、ガイドブックに掲載されている対応が機能しているのか。</p> | <p>勉強会で、65歳以上の高齢者の、前期高齢者・後期高齢者・末期高齢者のカテゴリについてご質問があり、吉井地域の人数をまとめさせていただいた。</p> <p>他地域との比較などについては、後日集計し回答させていただきます。</p>  |

| 事業名                      | No. | 質疑   | 回答  |
|--------------------------|-----|--|---|
| 平成25年度高崎市<br>当初予算の概要について | 1   | <p>予算とは直接関係はありませんが、将来的に関係するということで、吉井地域の振興策について、富岡市長の青写真を現時点でわかる範囲でご回答いただきたい。</p> | <p>吉井地域は、吉井インターチェンジがあり、首都圏から見るとビジネスの面で、非常に好条件の土地である。次のビジネスの発展地域として、有望なターゲットであるが、形の整った大きな土地ではないため、進出を希望する企業と個別に相談しながら、働きかけをしていきたい。</p> <p>2つ目に、吉井の農業は大変貴重な存在であり「きゅうり・椎茸」など良い生産物もある。現在、高崎スマートインターチェンジ付近に、高崎の農産物を販売する大規模なセンターを造る準備を始めている。首都圏の消費者に比べられる、良い物を販売するため、売り方・手法・売る物等、工夫しなければならないが、高崎の農産物は、ブランド力がやや足りず、質に見合った評価を受けていない。</p> <p>そこで、高崎市の3つのJAと組み、日本の食に関するトップIT企業と連携し、高崎の農産物を首都圏で売るため、広報普及する活動を1年前から実施し、徐々に効果が出てきている。</p> <p>3つ目に、多胡碑周辺に「郡衙」跡が発掘されれば、日本の文化資産となる。調査がもたつかないように、毎年予算を組んで調査していきたい。</p> <p>高崎は、吉井の多胡碑も含め、観光だけでは1日コースにはならない。食と文化事業を組み合わせ、初めて1日コースになるので、吉井の文化財や自然を活かした工夫を</p> |

| 事業名                          | No. | 質疑 | 回答  |
|------------------------------|-----|----|---|
| 平成25年度高崎市<br>当初予算の概要につ<br>いて |     |    | <p>していきたい。</p> <p>私の夢で一つ実現していないものとして、毎年秋に、高崎の旧市内の子どもたちが倉渕地区や榛名地区に歩いて行き、そこで農業体験をするという風景がある。市内のPTAに賛成を得て、実施しようとしたところ、警察から国道406号線は、歩道がなく危険ということで、立ち消えになった。吉井地域については、警察の了解をいただき、高崎の旧市内の子どもたちが、中山峠を歩いて、吉井で農業体験する事業が始まった。</p> |